

1. 過去の災害

1.1 過去の主要洪水の概要

西濃地域において、近年発生した主要洪水の概要は以下のとおりである。

【平成 14 年 7 月 10 日洪水（梅雨前線及び台風第 6 号）】

西日本南海上を北東に進む台風第 6 号が 9 日から接近し、梅雨前線を刺激したことも重なって、根尾雨量観測所では 10 日 1 時に 1 時間降雨量 111 mm を記録するなど、岐阜県西部で記録的な豪雨となった。このため、揖斐川では戦後最大洪水と同規模の洪水となるなど河川の水位も上昇、河川からの越流及び大谷川洗堰からの越流等を生じ、浸水戸数は約 714 戸にのぼり、大きな災害となった。この水害により、大垣市に災害救助法が適用された。



写真 2-1 相川、大谷川、泥川合流点の浸水状況（平成 14 年）（左側）
杭瀬川（塩田橋右岸）周辺の浸水状況（平成 14 年）（右側）

【平成 16 年 10 月 20 日洪水（台風第 23 号）】

20 日 18 時前に大阪府泉佐野市に再上陸した台風第 23 号は 21 時には岐阜市付近を通過した。当圏域では 20 日昼過ぎから強く降り始め、赤坂観測所では、20 日 17 時に時間最大雨量 63mm の激しい降雨となった。牧田川の各支川では、多くの箇所でも護岸侵食、堤防の漏水や、河川からの越流が発生し、圏域の床上床下浸水は 452 戸にのぼった。



写真 2-2 泥川（相川合流点付近）周辺の浸水状況（平成 16 年）（左側）
水門川八島町地区の浸水状況（平成 16 年）（右側）

【平成 24 年 9 月 18 日洪水（豪雨）】

温帯低気圧に変わった台風第 16 号に向かって南から湿った空気が流れ込んだため、17 日から 18 日にかけて岐阜・西濃地方で大雨となり、関ヶ原観測所では累計降雨量 381mm、時間最大雨量 53mm を記録した。これにより杭瀬川では氾濫危険水位を上回り、杭瀬川周辺で 5 戸が浸水した。

【平成 25 年 9 月 4 日洪水（豪雨）】

4 日には降り始めからの累計降雨量が 大垣観測所で 221.5mm を観測し、4 日 15 時 5 分までの時間最大雨量は、108.5mm を観測した。これにより水門川では計画高水位を上回り、水門川流域で 52 戸が浸水した。

【平成 25 年 9 月 16 日洪水（台風第 18 号）】

15 日から 16 日にかけて、日本の南海上から大型の台風第 18 号が北上して 16 日 8 時前に愛知県豊橋市付近に上陸、関東甲信地方から東北地方南部を通過して三陸沖へ抜けた。

このため岐阜県では 15 日から 16 日にかけて雨が降り、累計降雨量は、上石津観測所で 392.5mm、関ヶ原観測所で 302.0mm、時間最大雨量は、上石津観測所で 16 日 1 時に 50.5mm を観測した。



写真 2-3 水門川の浸水状況（平成 25 年）（左側：八島町地区）（右側：林町地区）

【平成 28 年 9 月 20 日洪水（台風第 16 号）】

台風第 16 号は、20 日 13 時 30 分頃和歌山県田辺市付近に上陸し、その後東海地方を東北東に進み、20 日 21 時に東海道沖で温帯低気圧に変わった。

岐阜県では 19 日から 20 日にかけて雨が降り出し、19 日から 20 日までの累計降雨量は、大垣観測所で 150.0mm、岐阜観測所で 111.5mm を観測した。

【平成 29 年 10 月 22 日洪水（台風第 21 号）】

台風第 21 号は、22 日に非常に強い勢力を保ったまま、次第に速度を上げて日本の南を北上、22 日夜遅くには東海道沖を北北東に進んだ後、23 日 3 時頃に超大型の強い勢力で静岡県御前崎市付近に上陸した。

岐阜県では 21 日から 23 日にかけて雨となり、21 日から 23 日までの総降雨量が、関ヶ原で 346.5mm、大垣市上石津で 311.5mm を観測した。また大垣で 1 時間に 41.0mm、関ヶ原で 40.5mm の激しい雨を観測した。

表 2-1 過去の主要洪水 被害一覧

洪水発生年	発生原因	浸水家屋（戸）				被害額（百万円）	
		全壊流出	半壊	床上	床下	一般被害額	総被害額
昭和 34 年 9 月 26 日	台風第 15 号 (伊勢湾台風)	167 ^{※1}	499 ^{※1}	17 ^{※1}	1,690 ^{※1}		
昭和 36 年 6 月 27 日	梅雨前線豪雨	—	—	2,765 ^{※1}	8,244 ^{※1}		
昭和 36 年 9 月 16 日	第 2 室戸台風	32 ^{※1}	575 ^{※1}	163 ^{※1}	1,928 ^{※1}		
昭和 46 年 8 月 31 日	台風第 23, 25, 26 号 秋雨前線豪雨	1	—	165	3,370	126	376
昭和 47 年 9 月 17 日	豪雨及び 台風第 20 号	3	—	56	64	38	53
昭和 49 年 7 月 25 日	豪雨	—	—	1,065 ^{※2}	7,904 ^{※2}	2,175	2,345
昭和 51 年 9 月 12 日	台風第 17 号 9.12 豪雨	—	3 ^{※3}	4,630 ^{※3}	10,030 ^{※3}	15,273	16,126
平成 2 年 9 月 20 日	豪雨 台風第 19 号	—	—	214 ^{※4}	874 ^{※4}	783	881
平成 14 年 7 月 10 日	梅雨前線 台風第 6 号	—	—	345 ^{※5}	369 ^{※5}	3,862	3,891
平成 16 年 10 月 20 日	台風第 23 号	—	—	33	419	689	699
平成 20 年 9 月 2 日	豪雨	—	—	22 ^{※6}	139 ^{※6}	303	338
平成 24 年 9 月 18 日	豪雨	—	—	8 ^{※7}	12 ^{※7}		
平成 25 年 9 月 4 日	豪雨	—	—	9 ^{※7}	366 ^{※7}		
平成 25 年 9 月 16 日	台風第 18 号	—	—	—	59 ^{※8}		
平成 26 年 10 月 13 日	台風第 19 号	—	—	—	6 ^{※7}		
平成 28 年 9 月 20 日	台風第 16 号	—	—	0	3 ^{※9}	931 ^{※13}	931 ^{※13}
平成 29 年 10 月 22 日	台風第 21 号	—	19 ^{※10}	3 ^{※11}	253 ^{※12}	2,430 ^{※13}	2,430 ^{※13}

出典：水害統計

※1 西濃管内の値

※2 大垣市のみの値

※3 大垣市と養老町の合計値

※4 大垣市のみの値（出典：防災アセスメント報告書平成 8 年大垣市）

※5 大垣市・養老町・垂井町・池田町の合計値

※6 大垣市・垂井町・池田町の合計値

※7 大垣市のみの値（速報値）

※8 大垣市と養老町のみの値（速報値）

※9 岐阜地方気象台 気象速報（大垣市）

※10 岐阜地方気象台 気象速報（各務原市、大垣市、美濃市、郡上市、高山市、飛騨市の合計）

※11 岐阜地方気象台 気象速報（大垣市）

※12 岐阜地方気象台 気象速報（岐阜市、各務原市、大垣市、養老町の合計）

※13 水害統計

表 2-2 近年（直近 10 年間）における農業関係被害※一覧

平成26年 台風11号	
養老町	○農業被害 (農作物) 大豆1.0t 373千円
平成26年8月15日～17日豪雨	
養老町	○農業被害 (農作物) 大豆1.7t 608千円
平成29年台風5号	
大垣市	○農業被害 (農業施設) 頭首工、水路、農道 29,134千円
平成29年台風21号	
大垣市	○農業被害 (農地) 田 6,194千円 (農業施設) 頭首工、水路 8,706千円
養老町	○農業被害 (農作物) 水稻 0.7t、大豆4.1t 1585千円
神戸町	○農業被害 (農作物) ねぎ 7.0t、こまつな 17.0t 8874千円
池田町	○農業被害 (農業生産施設) パイプハウス1棟 1500千円
平成30年7月豪雨	
大垣市	○農業被害 (農作物) 水稻 0.3ha (農業施設) 頭首工、水路 7,181千円
平成30年台風21号	
大垣市	○農業被害 (農作物) 水稻 6ha、ブロッコリー 6ha、大豆 6ha、梨 1.3ha、キャベツ 0.5ha
養老町	○農業被害 (農業生産施設) パイプハウス14棟 1696千円 牛舎 2棟 80千円 鶏舎 4棟 300千円 畜産倉庫4棟、農業倉庫1棟 2153千円
垂井町	○農業被害 (農業生産施設) パイプハウス2棟 2600千円
神戸町	○農業被害 (農作物) キャベツ 4.0t、ねぎ1.3t、こまつな7.4t 3889千円 (農業生産施設) パイプハウス32棟 60000千円
池田町	○農業被害 (農作物) なす 0.5t、アスパラガス2.0t、大豆 15.2t 7301千円 (農業生産施設) 製茶工場 1棟 300千円 パイプハウス16棟 12570千円 鶏舎 3棟 750千円 育苗ハウス(共同利用施設) 8棟 1000千円 製茶工場(共同利用施設) 1棟 300千円 野菜ハウス(共同利用施設) 1棟 1800千円
平成30年台風第24号	
大垣市	○農業被害 (農業施設) 水路 2,225千円
令和5年台風第7号	
神戸町	○農業被害 (農作物) こまつな 0.4t 133千円

※ただし、今回の浸水流域外の被害も含む。市町単位での集計を記載

1.2 過去と今回の災害における浸水範囲

各河川における浸水範囲について、今回の台風第10号による浸水範囲と過去の災害時の浸水範囲について、以下のとおり、整理を行った。

□杭瀬川における過去と今回の浸水範囲

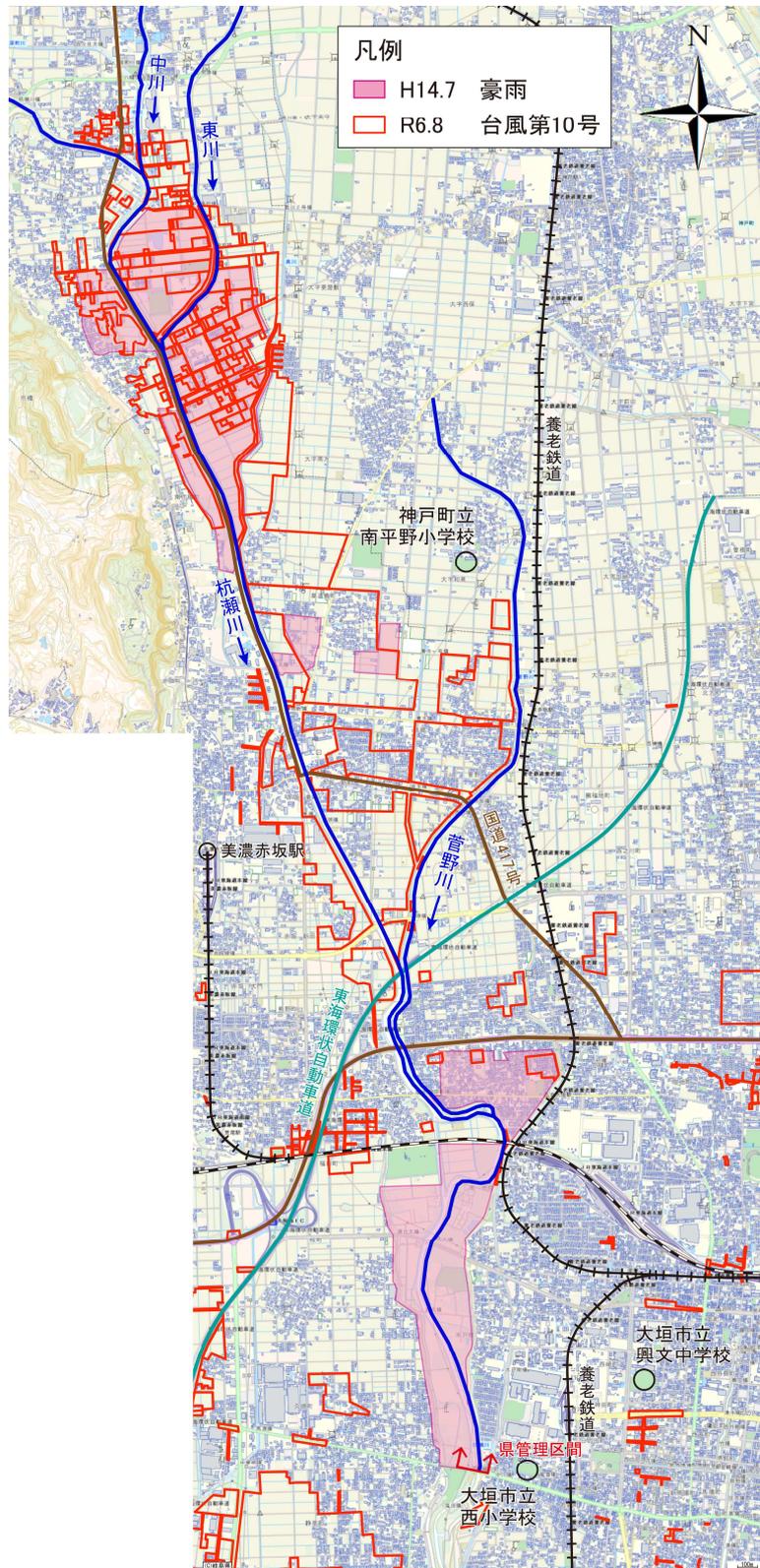


図 2-1 杭瀬川における過去の災害時における浸水範囲 (1)

□水門川における過去と今回の浸水範囲

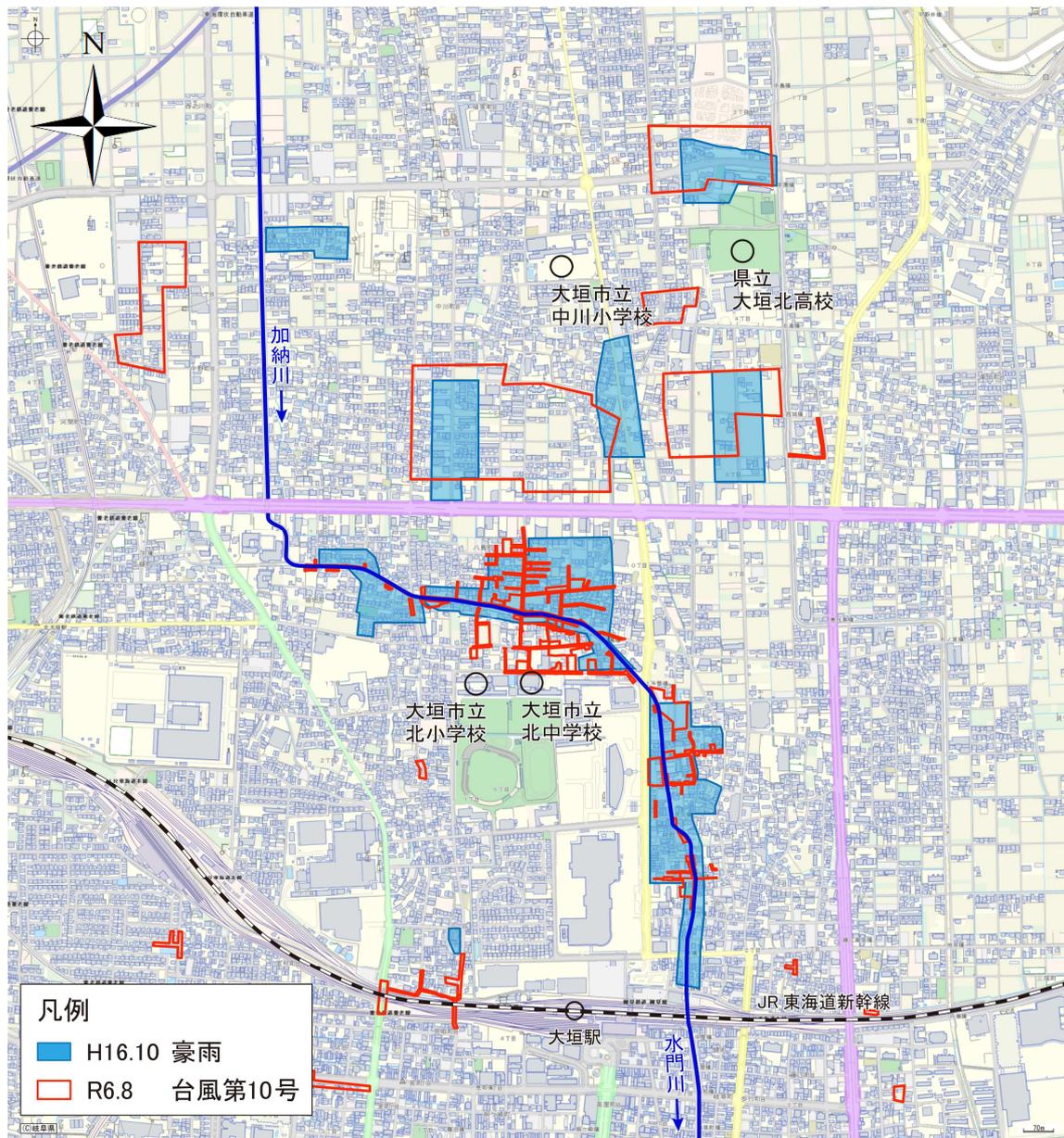


図 2-3 水門川における過去の災害時における浸水範囲 (1)

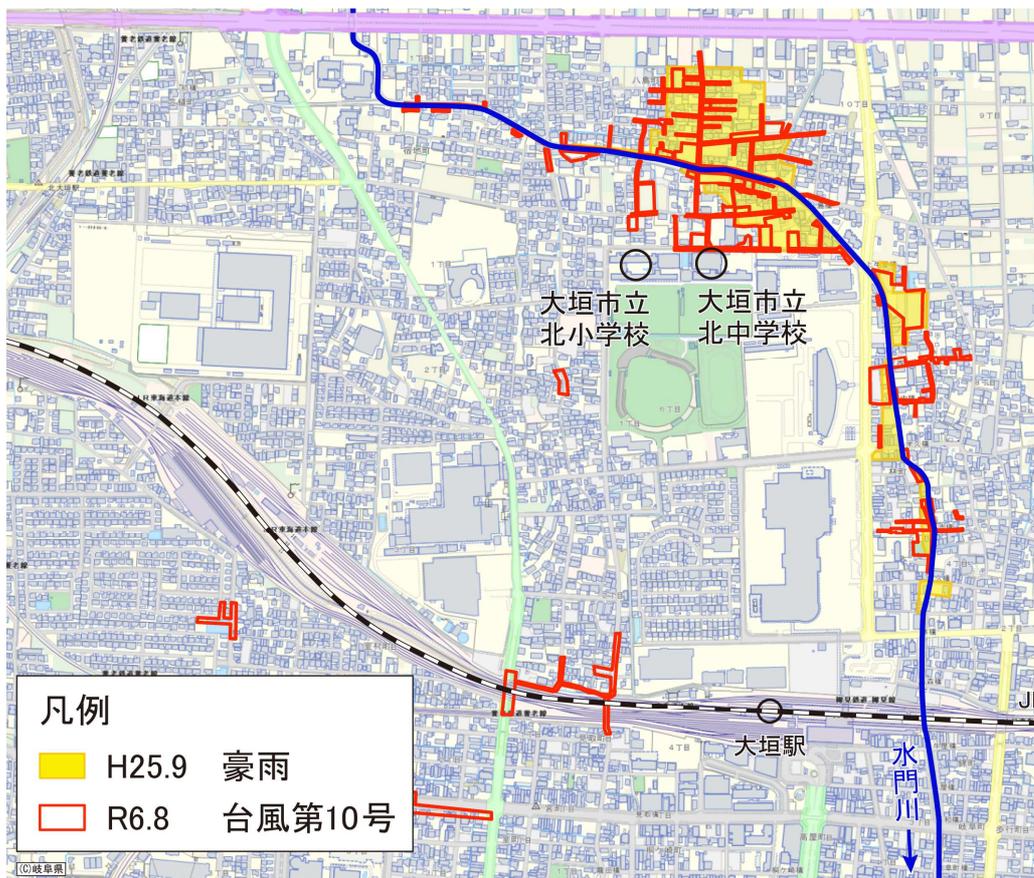


図 2-4 水門川における過去の災害時における浸水範囲 (2)

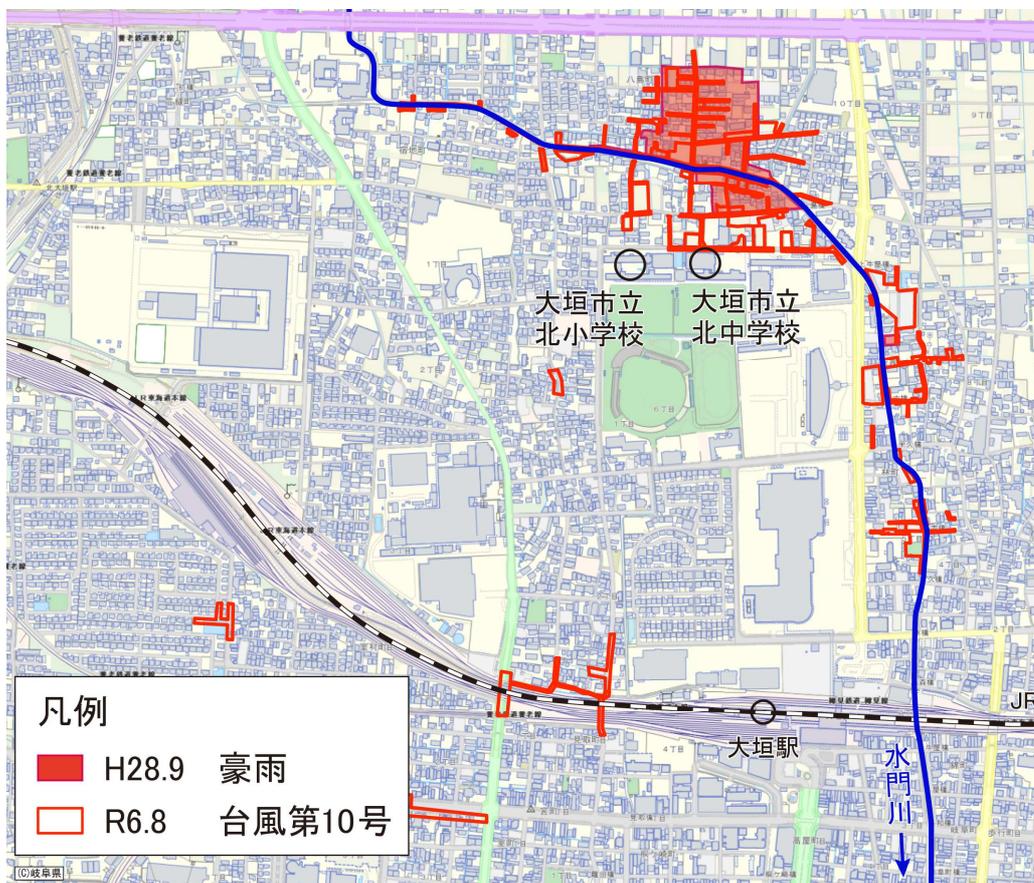


図 2-5 水門川における過去の災害時における浸水範囲 (3)

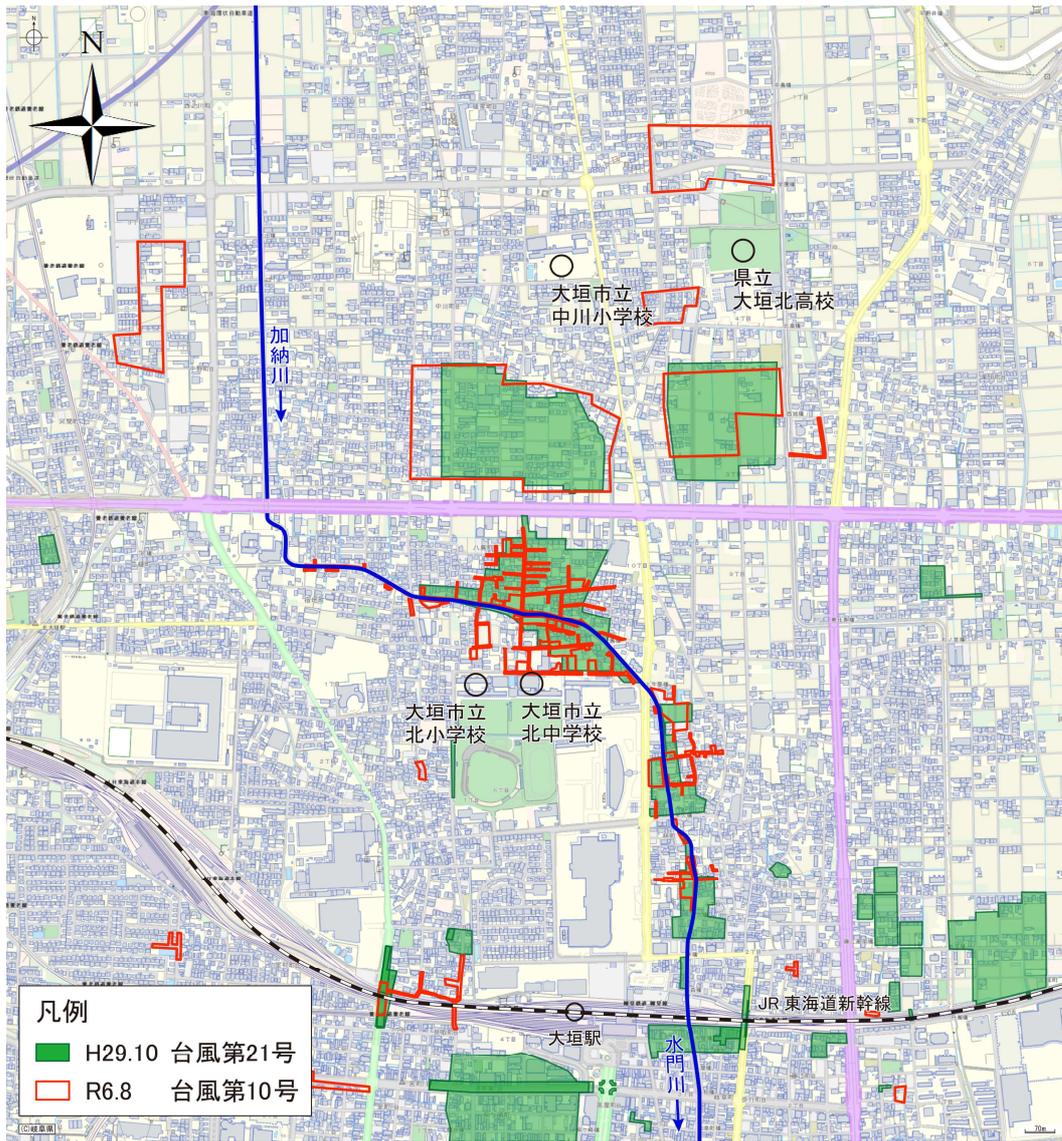


図 2-6 水門川における過去の災害時における浸水範囲 (4)

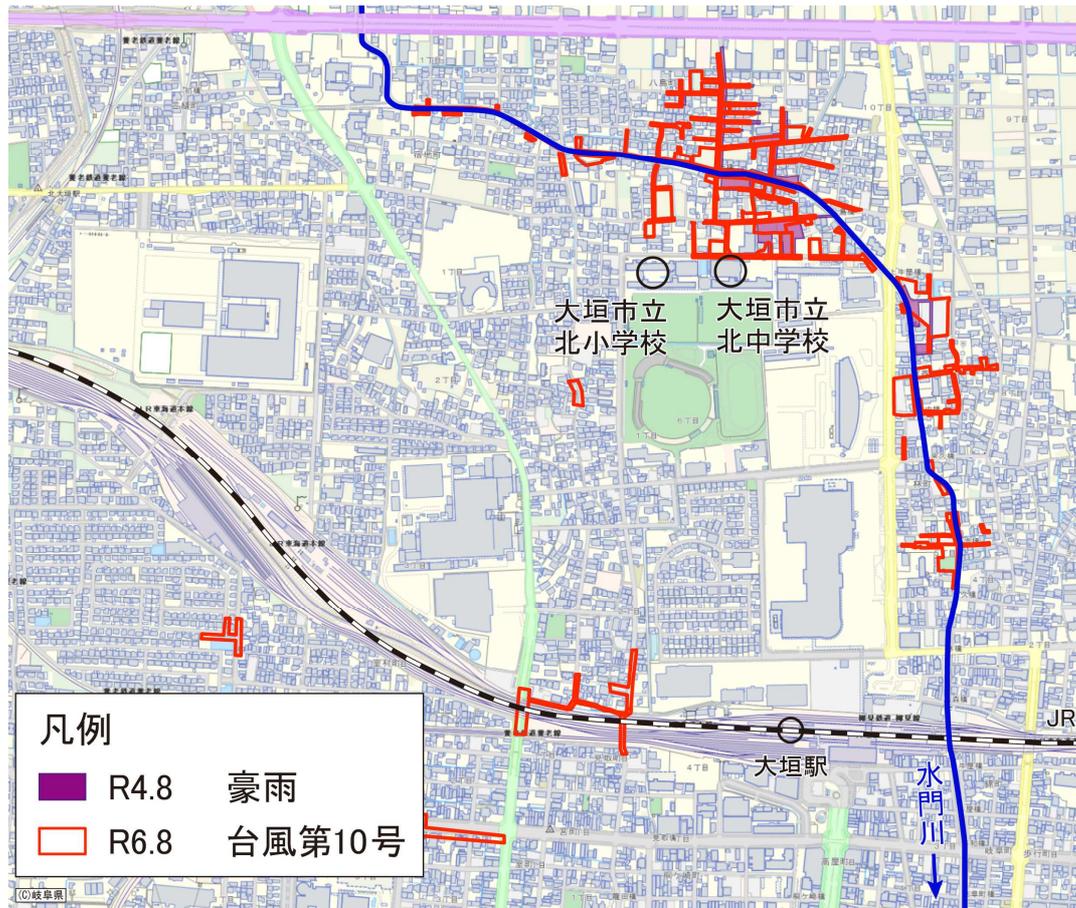


図 2-7 水門川における過去の災害時における浸水範囲 (5)

□泥川における過去と今回の浸水範囲

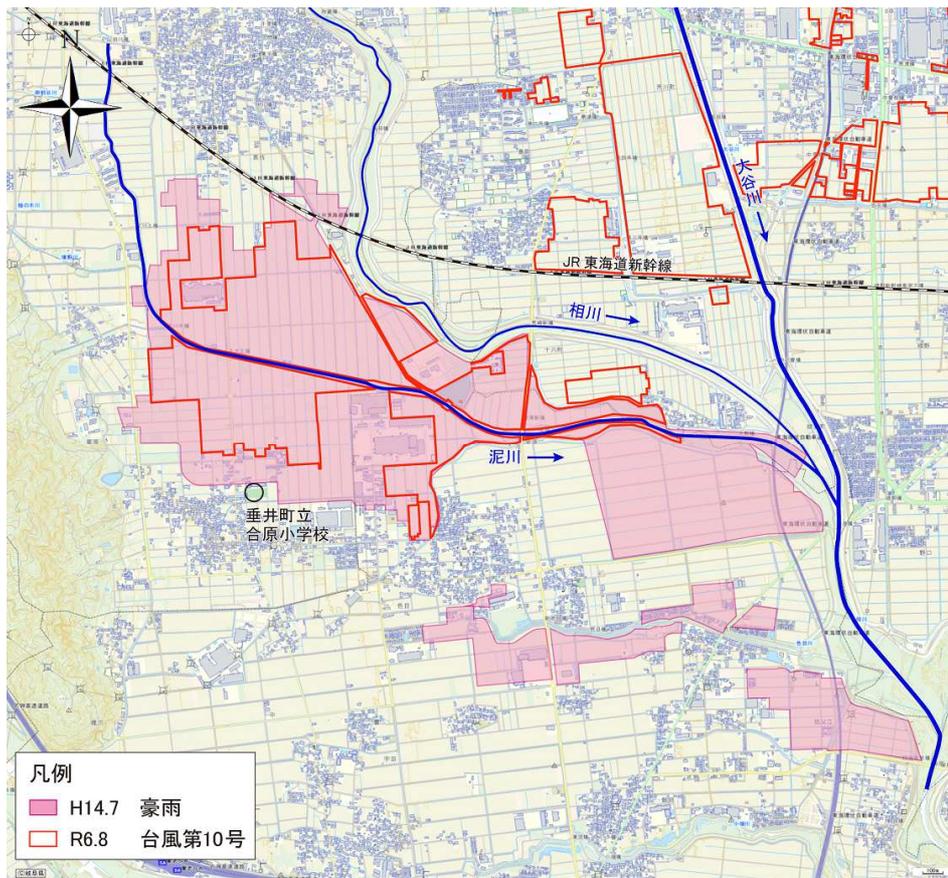


図 2-8 泥川における過去の災害時における浸水範囲 (1)

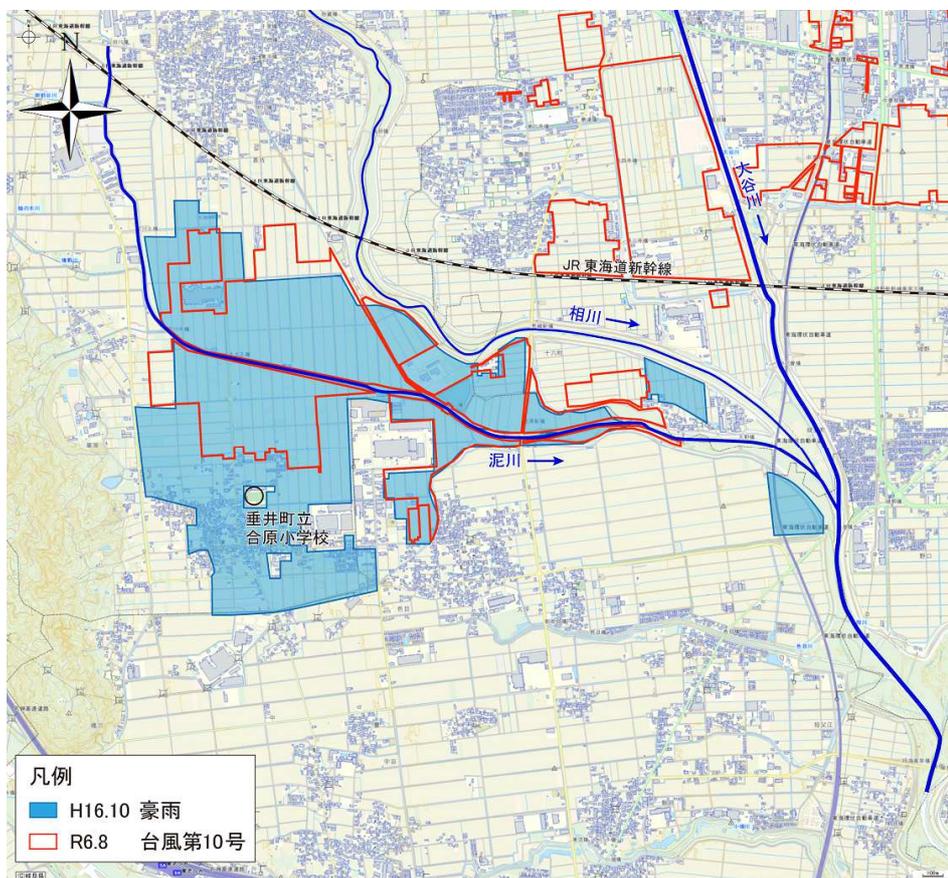


図 2-9 泥川における過去の災害時における浸水範囲 (2)

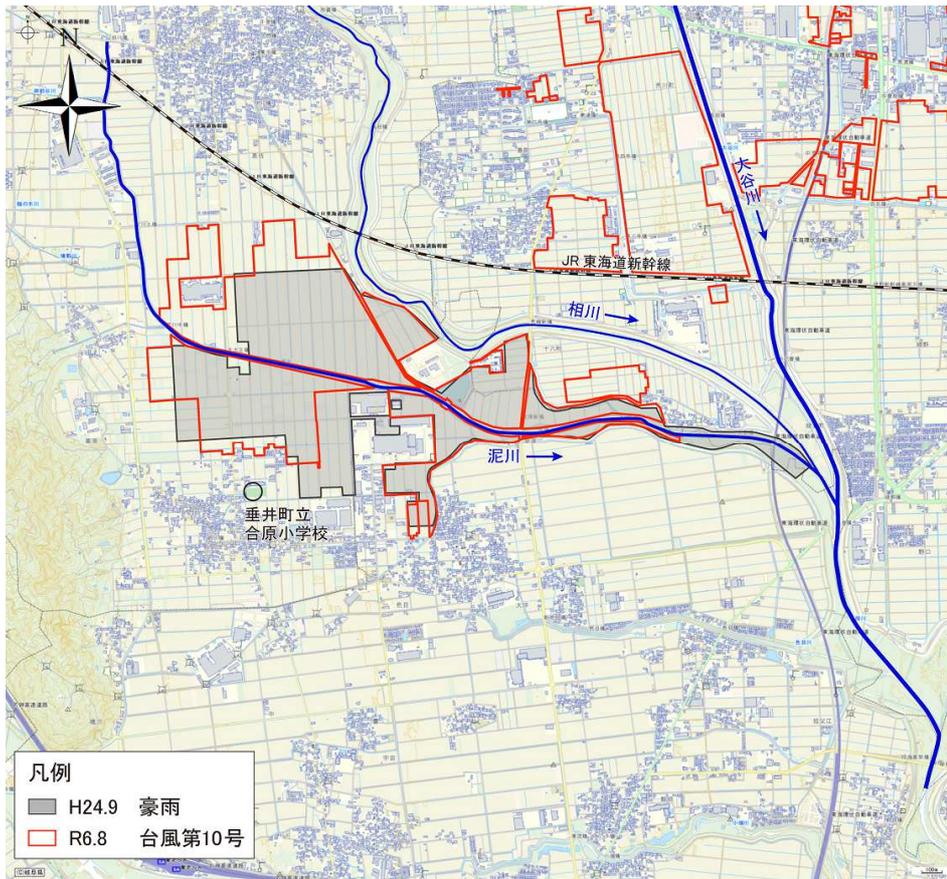


図 2-10 泥川における過去の災害時における浸水範囲 (3)

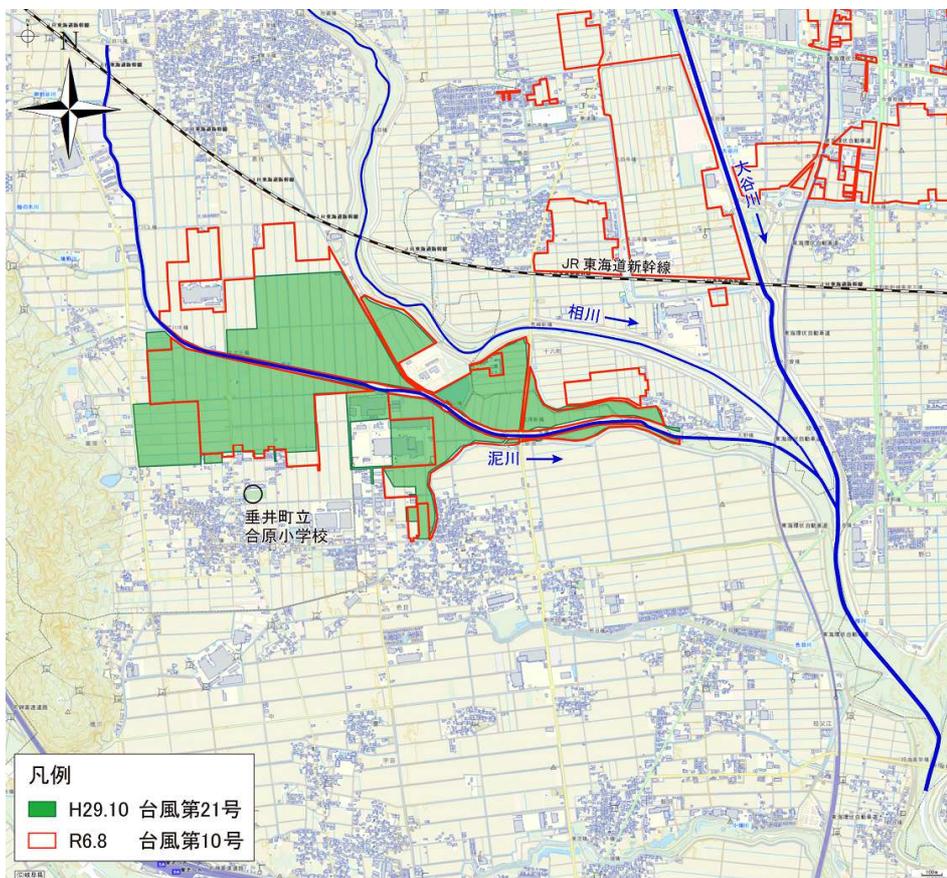


図 2-11 泥川における過去の災害時における浸水範囲 (4)

□平野井川における過去と今回の浸水範囲

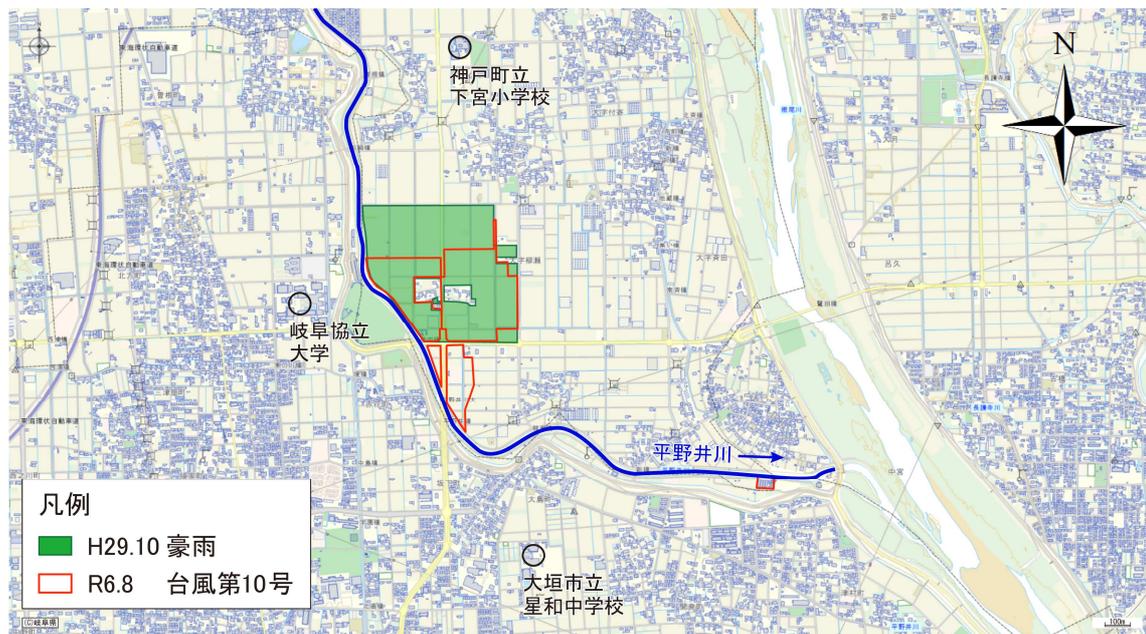


図 2-12 平野井川における過去の災害時における浸水範囲